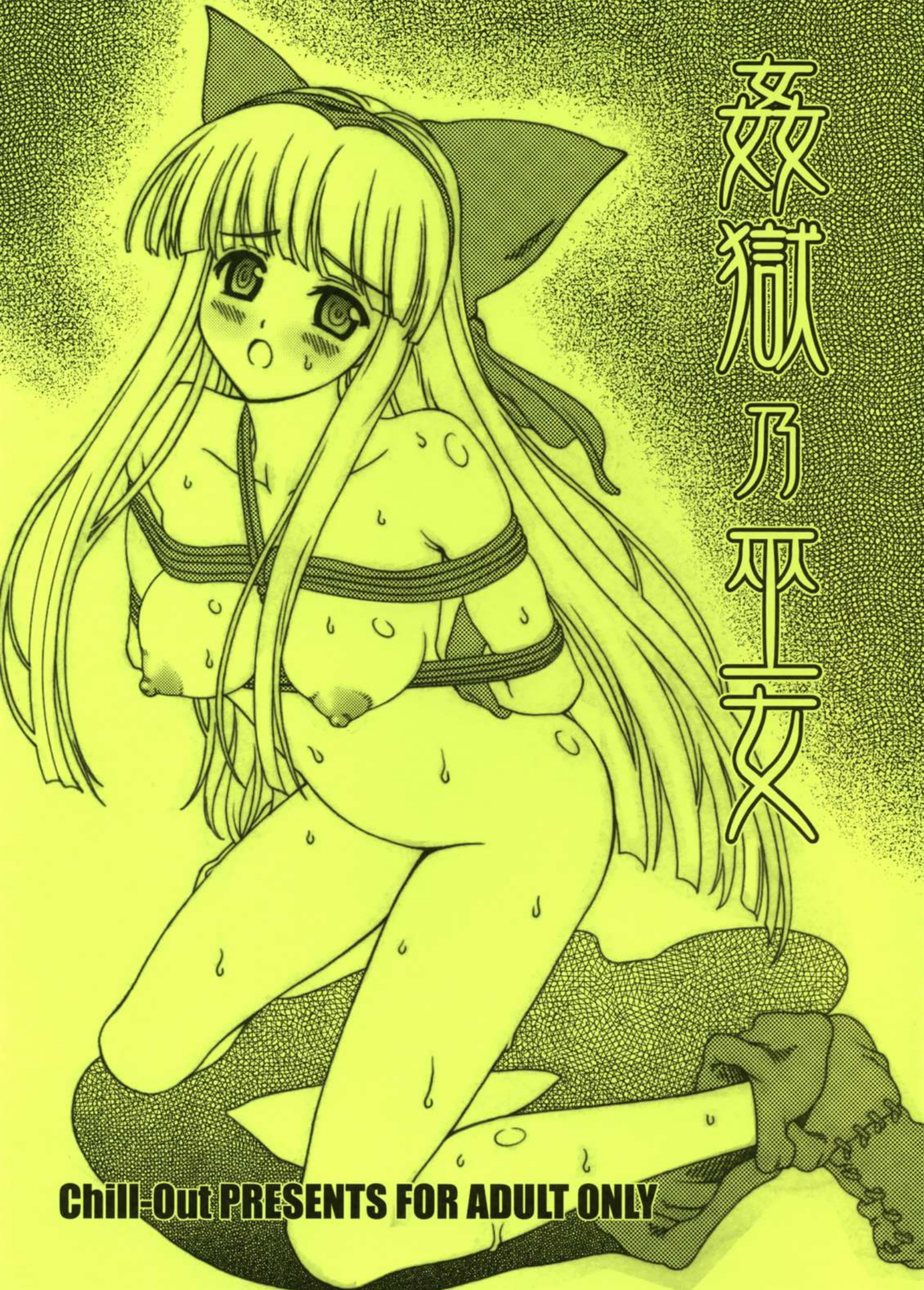


姦獄乃平女



Chill-Out PRESENTS FOR ADULT ONLY

Chill-Out Presents
~KANGOKUNOMIKO~

姦獄乃平女



明和二十一年
四月某日



くっ!!ひ、単怯な、
ウエンカムイ邪神
アンブロシア

村の者達にまで
手を出すなんて…
今すぐその娘を
離しなさい!!



アイヌモシリ
カムイコタン



だ駄目…
私には…

ホポロっ!!

唯一無二の存在、
光の巫女と称される
だけの事はある

だがお前の奮闘も
ここまでよ、この娘の
命が惜しくば今すぐ
その刀を収め、我の
軍門に下るのだ



くく…これ程の
敵の妖鬼を相手に
一歩も引かぬとは
噂以上の強さ、
そして美しさよ、
流石はカムイの
祝福を受けし乙女

は…
離せえっ!!



皆を見捨てる
事なんて…
できないよ…

わんばかりました、
刃を鞘に収め、
あなた達に
従います

だからその娘を
開放してあげて、
皆にはもう手を
出さないで、お願い…



さあどうする?
光の巫女
ナコルルよ

いつ!!…ぎゅ…ぎゅ!!
巫女さま…だ…駄目
…だよ…

姦獄乃巫女

深水直行

流石は光の巫女、
賢明な判断だ



あつ!! い、
いやあつ!!



くくく、可愛らしい
胸をしているな、まだ
膨らみ始めたばかりの
蕾といったところか

これからお前の
その無垢で清らかな
身体を私の好みに
仕立ててやる

百八つに裂かれ封印
された私の肉体を現世に
蘇らせるにはナコルよ、
お前の力が必要なのだ



ひゅっ



世界にただ一人、
純白の魂を持つ
光の巫女の羞恥、
苦痛、快楽こそが

我にとってこれ以上
ない極上の養分と
なるのよ

ひゅ!! や... やめ
... あああつ!!



数日後その幼い
胸がどのように変容
しているか楽しみな
事だくくく...

いやつ!! あつ!!
... ああつ!!





くあつ!!い、縛めを解いてっ!!ああつ!!か、厠に…行かせて…っ!!

あくっ!!

くくく…また催してきたのか今日だけでもう四回目だぞ ナコルルよ

も…濡れちゃ…う…あつ!!いやあつ!!お願いっ!!



五日後



あつ!!もう、止めて…っ!!

いやっ!! ああつ!!

どう…して…そんな所ばかり…あつ!!…あはあ!!

うあつ!!舌を離して…張めちや駄目!! あつ!!アヒラ!!



だめっ!!も、もう我慢できない…っ!!

いやっ!!あつ!! み…みんな…見ないでっ!!

お願いっ!!あつ!! 見ないでえっ!!



だが忘れたのか? お前の痴態はこの目によつて隣々まで観察されているという事を

あ…っ!! ああつ…!!

村の広場に据え付けられた鏡には、今もここで据えられた光景が映し出されているのだ

恥ずかしいか? かく…さあ、またここで小便を漏らして見せろ

いやあつ!!わ、私のこんな姿を…映さないでっ!!



くくく…尿意に耐え切れずお前が初めて小便を…進らせた時も全てが晒されていたぞ

触手に觸られてしこり立った淫核、大きく盛り上がり激しく小便をしぶかせる尿口

水流の勢いに合わせて怪しく轟く桜色の肛門、収縮する肉嫩の一筋一筋まで克明にな



いやあああつ!!

ああつ!!



お前がこの肉牢に
囚われてから今日で
五日目...もう
こちらの方も限界
なのではないか?

くくく...腸汁に大便
特有の苦味が混じって
きているぞ、お前...
素晴らしい味だ



くくく...甘い声が
口から漏れてきて
いるぞナコルル

あ...ああつ!!はあ
...あつ!!あはあつ!!



いかにお前が美と恋愛
の象徴である光の巫女
とはいえ所詮は人の身
自然の摂理から逃れる
事ではできぬ

あつ!!...くつ!!ウ、
ウエンカムイ...
なんて...卑劣な...



全て搾りきったか、
そろそろ
良い頃合だな



あつ!!やめて...
うっ!!ああつ!!



あつ!!...おつ!!
...おおおつ!!

ほうら、入って
いくぞオ、聖巫女の
糞の味を我の舌で
直接味わってやる

腹の中を舐め回さ
れる気分はどうだ?
くく...耐え難い心地
良さであろう?

それにしても...
流石は光の巫女よ、
糞の味までこれ程
素晴らしいとは



あぐツ!!...か、
かき回しちや...
駄目エツ!!

なんと甘く香ばしい
味わい、舌の上で
蕩ける様だ、おオオ
力が漲ってくるぞオ

や...やめて...
う...あアツ!!



くくく...このまま
脱糞するまで
舐り続けて
やろうか?

いやつ!!...あつ!!
ああつ!!...うつ!!
な、なんて事を...

さあもうひり出し
たくて崩らぬの
だろ? ナコルルよ、
我慢する事はない

か、願に...お願い
...あつ!!...うあつ!!
あはあアツ!!

お前がこの
桜色の美尻から
どの様な糞塊を
捻り出すのか、
じっくりと観察
してやる

それだけは
絶対に...あつ!!
ゆ許してエツ!!

村人どもにも
よく見える様に
間近でな、
くくく...

う...ああ...!!
いやつ!!そ、
それだけは...





おおっ…糞便が
顔を覗かせてきたぞ、
いよいよか

は…ああ…で、
できない…こんな
所で…ぜ、絶対…

くく…惜しかったな、
あと少しで光の巫女の
脱糞姿が拝めたものを

まったく大した
精神力よ、並の娘なら
とうに決壊していたで
あろうに

みんなに見られながら
だなんて…わ、私…
恥ずかしくて死んじゃう…
ああ…もういやあつ!!



うっ!!…くあつ!!…
あつ!!…い…やあ
…あうっ!!



うっ!!…く…
ふうっ!!…う…
ううんっ!!

むう…っ!?



そうら下ってきていた
大便を腹の奥に詰め
戻してやるぞよ、
くく…

お…あ…っ!!
あはアああアツ!!



仕方のない奴よ、
こうなったら私の
手で直接かき出す
しかなさそうだな

ああ…っ!!お願い…
もう許して…い、
いやあ…っ!!

くく…これからの
透明な触手を用いて
貴様の尻穴を徹底的に
犯し抜いてやる



駄目!!あつ!!
お、お尻はもう…

腸の奥まで皆の目に
晒しながら地獄の
便意と快楽に悶え
狂うがいい

お願いっ!!か、廁に
行かせてっ!!ああつ!!



うっ!! あつ!!
あぐうっ!!

はあつ!!
あんっ!!

おお... なんとという
凄まじき締め付けよ
私の触手が喰い
千切られそうだ

お、お尻が... うあつ!!
壊れ... ちや... アヒイツ!!

んおつ!!
おはアツ!!



うぐっ!! く、苦し...
い... 胸を... 締め付
けないで... ああつ!!

くくく... たわわに
実った双乳が破裂
しそうな程
張り詰めているぞ

だ... め... あ... うっ!!
む、胸の先から何かが
出そう... なのオツ!!

さあ、私の前でその
はしたない肉果実
から淫らな乳汁を
噴き上げてみせろ



いやあつ!! そ、
そこはお小水の...

前と後ろの排泄孔を
同時に貫かれるのは
どのような気分だ?
くくく...

ンヒイツ!! だ、駄目エツ!!
あぐっ!! うあアツ!!

お前は穢れ無き
純潔の身を保つたまま
卑しい排泄奴隷へと
堕ちゆくのだ

うっ!! ああつ!!
あはアツ!!





はヒイイツ!!

はっ!! あうっ!!
あはアツ!!



どう…して…わ、
私…おっぱいが…
あつ!! うはアツ!!

くくく…まだ十三の
未発達な身体には
少々大きさが過ぎた
様だな

この張り、弾力、
そして形の良さ、
まさに芸術品の如き
至高の美乳よ

お前が噴乳の
快楽に目覚めるまで
母乳を搾り抜いて
やるくくく…

搾らないでツ!! あぐつ!!
ま、また出ちやうウツ!!



腸の壁が私の
触手をひり出そうと
妖しく蠢いているぞ
ナコルル

だ…め…お腹…
も、もう…っ!!

いかに光の巫女と
いえど流石に
もうこれ以上は
耐えられまい

苦し…い…やあつ!!
ぐつ!!…か、かき回さ
ないでエ…うあアツ!!



うぐつ!! あつ!!
あうんツ!!

いやつ!! ああつ!!
許…してエツ!!

くくく…さあ漏らして
しまえ光の巫女よ、
世界で最も美しく
愛らしいお前が

それだけは…
あつ!!…お、お願い
…ひぐウツ!!

恥臭にまみれた
野太い大便を
ひり出す姿を私の
前に晒すのだ

駄目エツ!! 私もう…た、
耐えられない…アヒイツ!!



早く糞を垂れ流して
しまえ、もはやお前は
ここで脱糞する
以外にないのだ

うぐつ!! あつ!!
あはあアツ!!

ふ...深...い...
そんな...奥まで...

うあつ!! く、苦しい
...あぐつ!! もう...
やめ...おあアツ!!

そうら今まで以上に
腸の奥まで蹂躪
してやる苦しいか?
光の巫女よ



くくく...こうして
引き抜かれると
触手の先端が肛門を
内から捲りあげて

やくつ!!...
だ...駄目エツ!!

うつ!!...あ
...ああつ!!

太い糞をひり出して
いる様な感覚に
奥られるであろう?



さあナコルルよ、
不浄の蛇を尻の穴から
産み落とすのだ!!



お前の内容物が
内からかなりの力で
外に溢れ出ようとして
いるのを感じるぞ

駄目ツ!! も、もう...
本当に我慢できない
...あつ!! いやあつ!!

うつ!!
ああつ!!

あぐウツ!!

くくく...
そろそろ止めを
刺してやる

漏れちゃ...う...
ああつ!! か、廁に...
廁に行かせてエツ!!



くくく…
太い糞がひり
出てきたぞオ

ん…ん…ん…
ん…ん…ん…!!

お…あおおオ…



ああ…も…
もう…駄目…

み…んな…見ない
で…あ…ああつ…

は—
は—



おお…これが
光の巫女の
脱糞姿か…なんと
美しく艶かしい
光景よ…

目を閉じて…わ、私の…
こんな姿を見ないでエツ!!

いや…あ…つ!!
あううツ!!

聖女の腹の中で
五日の間熟成された
大便の色、艶、
そして香り…

全てが最高だ、
我がここまで
心奪われるとは…
やはりお前は特別な
存在なのだ



くく…まだ腹の
中にはたっぷり
詰まっているの
だらう?
全て吐き出せ

お…ああつ!!…い、
いや…アヒイツ!!



見ないでツ!! あ…は、
恥ずかしいのオツ!!

うあつ!! と、止まら
ない…あぐシ!!



くくく…まだ出すのか、
一体その細い身体の
どこにこれ程大量の
汚物を溜め込んで
いたのだ?

い…やあ…っ!!
い、言わないで…

あッ!! 駄目エッ!!
お尻が…と、閉じ
られない…ああッ!!

うくっ!! ぶっ!!
…んんっ!!…



思う存分ひり出して
排便の快楽に
はしたなく身を
震わせるがいい

ううっ!!…せ…
全部出ちやう…
んっ!!…ぶうっ!!



腹を空かせた所で
貴様に懐かしの
対面をさせてやる
くくく…

漏らしちゃっ…た…
ああ…は…
恥ずかしい…んっ!!

うっ!!…ああッ!!…
いや…こんな所で…
わ、私…あッ!!



ようやく全てを
吐き出し終えたか、
実に素晴らしい見世物で
あったぞ、ナコルルよ



くくく…家族同然の
村娘に脱糞直後の
姿を見られるのは
恥ずかしいか？
ナコルルよ

いやあつ!!み、
見ないでっ!!

ぶるんっ

私のこんな惨めな
姿を…ああ…お、
お願い…ホポロ…



小娘よよく見て
やれお前が会い
たがっていた光の
巫女の姿を

あ……

ぷら

ぷら

み…
巫女さま…

ホポロっ!?

汗と糞尿に塗れた
姿もまた格別に
美しいであろう？



この娘には
三日の間一滴の
水も食料も
与えていないのだ

な…っ!!なんて
酷い事を…

このままではあと
数日ともたずに
干からびて死んで
しまうであろうな

お願い…その娘に
水と食べ物を
与えてあげてっ!!

そんなっ!!



う…だめ…
巫女さまに…

ぷら
ぷら

巫女さまに…
酷い事しないで…

はあ
はあ



ホ…ホポロ、
どうしたの？

くくく……

そんなに苦しそうな
顔をして…ま、まさか
ウエンカムイに…



あぐツ!!
いやあつ!!

それ程にまでこの
小娘の身を案ずる
のなら自身の力で
助けてやれば
よからう？

幸か不幸か、
お前には我がこの
豊かな胸を授けて
やったのだからな

な、何を…ウエン
カムイ…ま…
まさか…あつ!!

あぐツ!!
いやあつ!!



貴様の羞恥心を
極限にまで高める
特別な方法で
授乳させてやる

ああっ!!む、胸が…
あつ!!…くあつ!!

ちゅー

す、吸つちや…やあつ!!
あつ!!で、出てるう…

だが普通に
飲ませるだけでは
面白みに
欠けるのでな

じゅるるっ



察しがいいな、
そうだがお前の
母乳を食料として
与えてやるのよ

ああ…そ、
そんな事を…

聖巫女の強大な魔力を
たっぷり含んだ母乳
だからな、これ程の
滋養食は他にあるまい



くツ!!うああツ!!
や、やめてエツ!!



うぐつ!!は…ああつ!!
お…お腹が…ううつ!!
い…入れないでエツ!!

生まれて初めて経験
する流腸の味はどうか?
くく、しっかりと尻の穴を
縮めておけば溢れ
出てしまうぞ

くつ!!…うあツ!!
は、入ってくるう…

ちゅー



いやあつ!!ど、どうして…
お尻はもう…あヒイツ!!

くくく…腸壁に
こびり付いた残便を
自分の母乳で
洗い流すがいい



だ…駄目っ!! 抜かれ
たら出ちゃうっ!!…
お願い、か、廁に…
ああっ!!

ハッ

はあ

はあ

ハッ

腹が膨らんできたか
流石は光の巫女、
初めてこの腕を
ここので耐え
忍ぶとはな

あぐっ!! お、お腹が
…苦しい…の…っ!!

そろそろいいだろう、
尻の触手を抜いてやる、
しっかり肛門を
閉じておくのだぞ

くわわわ
きゅわわ
ごわわ



は…
あつ…

うぐっ!!
…うぐっ!!

うあつ!!

ハッ

ハッ

いや…あ…
あううっ!!

もう…止めて
…ああアツ!!

くわわわ
きゅわわ
ごわわ



あ…こ…これが
巫女さまの…
お尻…

ハッ

真っ白で…すっく
きれい…それに…
いい匂い…

くく…賢明な
お前の事だ、もう
分かっているの
だろう?

さあ、腹の中で
温めた母乳を
この娘に飲ませて
やるがいい

ハッ

あつ!! だ…め…
ホポロ…そ、そこは
汚いの…ああつ!!

腸奥で柔らかく
溶け混じった糞便と
共にな、ふははっ!!



甘くて…美味し
そう匂いがする…

巫女ひやま…ん…
んちゆる…ふあ…
あふあ…

ホポ…ロ…うっ!!
あつ!! いやあアツ!!

ハッ

ハッ

ハッ



これで準備は整った、
では今からアイヌの
民の絆というものを
見せてもらおうか

ハッ

ハッ

アヒイイツ!!

くく…ナコル上、
お前の守るべき大切な
者が極限の過ぎに
苦しんでいるぞ



ウエンカムイ…な…
なんておぞましい事を
…あつ!!…ううっ!!

ハッ

ハッ

はあ

はあ

ハッ

くわわわ
きゅわわ
ごわわ

ハッ

心優しきお前に
この娘を見捨てる事
などできない、さて
こんな時はどうすれば
いいと思う?



私…た…耐えられ
ないっ!! ああっ!!

見る光の巫女よ、
小娘は美味そうに
お前の母乳を
飲み下しているぞ

ちゅるっ

ちゅるうう

あつ!!…うっ!!
こ、こんな…
恥ずかしい事…

第十三の生娘が
糞をひり出す肉穴から
授乳する光景か、
くくく…なんとも
艶かしいものよ



くっ!!…うはあつ!!
駄目…んうっ!!

くくく…脱糞した
者に舐られるのは
堪らぬ恥ずかしさ
であろう

ちゅるっ

はぁ

ホポロ…す、
吸わないでえつ!!



あぐっ!!で、できない
…ホポロにそんな事…

さあ我慢せずに排泄
してしまえ、ただし、
その娘が母乳を飲める
様にゆつくりとな

いや…あつ!!もう…
が、我慢できないッ!!



ああつ!!ホ、ホポロ…
舌を入れちや駄目ッ!!

な、舐めないでっ!! あつ!!
はあつ!!…お…おおオッ!!

ちゅるうう
ちゅるっ

まだ腹の中には乳汁が
たっぷり残っているだろう、
その娘が満足するまで
搾り出してやれ



う…ああ…っ!!
いやああつ!!

光の巫女の聖糞は
我ら闇の眷族にとっても
最高の供物となる
極上品だからな

くくく…漏らし
始めたか腹の中に
残っている糞も一緒に
飲ませてやるがいい

ごめんね…ホポ…口
…ああつ!!…で、出ちやう
のオッ!!アヒイツ!!

はぁ

はぁ



くくく…尻の穴に
力が入らなくなってきた
様だなもうこれ以上
閉じてははいれまい

いやっ!! あっ!!...
ま、また…んっ!!

びん

かちゅう

あつあつ

かちゅう

かちゅう

くあつ!! も、もう
これ以上は…あつ!!
くうっ!!…あはアツ!!



ぶは…あ…み、
巫女さまの…
美味しいよ…

がら

はあ

がら

はあ

は…あ…いや…
ホ、ホポロ…んっ!!

ちよつとだけ苦いけど…
甘くて…濃くて…
とっても美味しい…



かちゅう

ああつ!! ホ、ホポロ…
見ないでエツ!! あツ!!

まだ調教は始まった
ばかりだ貴様の肛門を
徹底的に開発し、我が
肉体を産むに相応しい
身体へ改造してやる

あつあつ

あつあつ

あつあつ

穢れ無き純白の魂を
持つお前がどのように
色責めに屈するのか、
まったく楽しみに事よ、
くくく…



がら

もう…もう…
ぜ、全部…
出ちやうよオツ!!

はあ

はあ

ホポロ…は、離れて
…お願い…っ!!



あ…駄目エツ!!
は…ああつ!!

思い切り肛門を
開放するがいいい…
腹の内容物を一気に
搾り出す快楽は
格別だろうか?

びん

あつあつ

あつあつ

あ

あつあつ

がら

がら



くくく…素晴らしい
締められた、桜色の
肉輪が私の男根を
啜って離さぬぞ

うぐっ!! あつ!! く、
苦し…い…はあつ!!

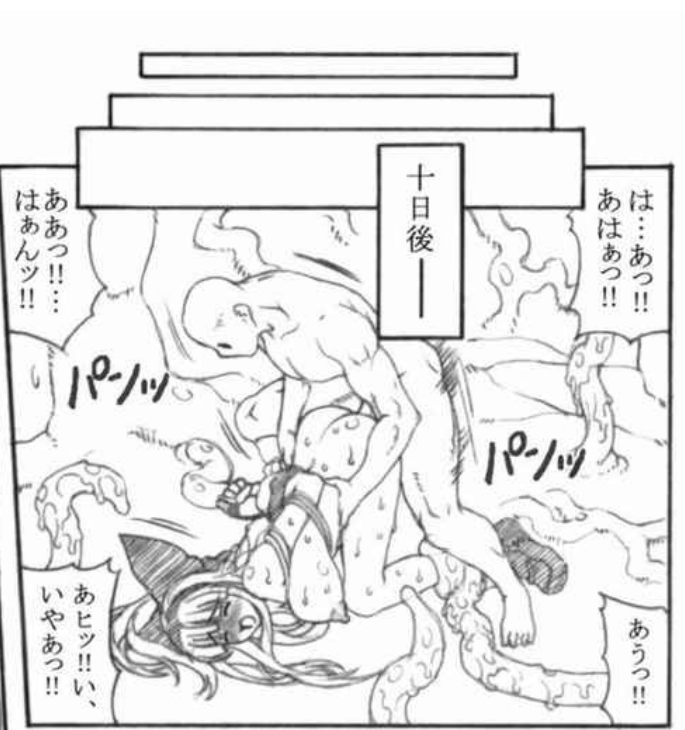
ガッ
ズッ
ガッ

くうっ!!
うあつ!!

もう許して…お尻…
あつ!! いやっ!! アヒイツ!!
え、えぐらないでエツ

男の肉棒で尻の穴を
掘られるのは堪らぬ
心地良さであろう?
くく…早く私の物と
なってしまうえ

ああつ!!



十日後—

は…あつ!!
あはあつ!!

ああつ!!
はあんツ!!

10-11

10-11

あヒツ!!
いやあつ!!

あうっ!!



あつ!! ヒイツ!!
んあうツ!!

も…やめ…くあつ!!
あつ!!…ひやぐうツ

10-11

ズッ
ガッ



あつ!! やぐうっ!!
お、お腹の中ア…

一週間以上もの間
腹の中を淫蟲に埋め
尽くされ、こうして
尻穴を犯され続けて
いるのだからな

ズッ
ガッ

ズッ
ガッ

ズッ
ガッ

くくく…強情な
娘よだがもはや
お前が養ひり巫女に
随たるのは
時間の問題だ

な、舐められて…るウ
…うあつ!! 駄目エツ!!
あ…おとおオツ!!



我が肉体を蘇らせる
為に糞尿を供物として
捧げる排泄奴隷へと
随たるのだ

服従の誓いを立てれば
お前の糞門を開放し、
腸で蠢く蟲どもを
ひり出させてやる

わ、私は…邪神に
など屈しません!!
あつ!! あハヒイツ!!

ガッ

ガッ
ズッ

い…いやっ!! そ、
それだけは絶対…



それにしても
恐るべきは光の
巫女の精神力、
その魂の強靭さよ

はあつ!!
あうんツ!!

んうつ!!
くはアツ!!

あつ!!くつ!!
うつああつ!!

お願い...あつ!!
あヒイツ!!

いやあつ!!あつ!!
ぬ、抜いてエツ!!

並の娘なら半日ともたず
発狂するか悶死してしまう
この色責めを十日近くも
耐え抜くのだからな

腸のヒダの一番一筋に
まで舌が舌を這わせ
こびり付いた糞を
舐め取っているのだ

ああつ!!あうつ!!
だ:駄目エツ!!

あつ!!

ああつ!!んつ!!
おほオツ!!おツ!!

はあつ!!

くくく:良かったな
ナコルルよ腹の中を
綺麗にしてもらえて、
腸の奥まで愛でられて
嬉しからう?

くつ!!うはあつ!!これ以上:
され:たらあ:んおおツ!!

おお:腸壁が吸い
付いてくるぞ、あまりの
具合の良さにもう
出てしまおうだ

ああ:も、もう
入れないでツ!!
浣腸はいやあつ!!

またたつぷりと
尻の中に出してやる、
我が洗礼を受け
止めるがいい

くはつ!!:
アヒイツ!!



くう…あつ!!

くく…まったくお前は最高の女よ、犯せば犯すほど我が身に力が漲ってくるわ

では尻穴の男根を抜いてやろう腹に詰まった蟲をひり出して排便の魔悦に魂を灼かれるがいい



そのまま果て続け脱糞快楽の虜になるがいい

かはつ!!あつ!!
い…いやあ…
見ないで…
お…ああつ!!

丸々と肥えた蟲をひり出すのは気がふれそうな程の快楽であろう?



媚毒をまとった淫蟲を排泄する時の快楽は今までの調教の比ではないぞくく…



あ…お…おお…
ふう…んん…つ!!



アオオオツ!!

お尻が…アヒイツ!!の、
伸びちやう…んおオツ!!

蟲が糞門を通る
度に雷の如き淫撃が
膈を灼くであろう、
思う存分業しむがいい



はあっ!!おっ!!
おほおオツ!!

くくく…肛門が完全に
裏返り腸肉がはみ出て
いるぞはしたくない娘よ、
脱糞行為でここまで
悶えるとはな

あはアツ!!あ…
い…いやあアツ!!



ああ…い…や…
だ、誰か…

次は村人どもの前で
ひり出させてやると
しよう、くくく…

誰か…あ…
た…助け…てエ…



全て排泄し終えたか、
くくく…尻の穴が口を
開けたまま妖しく収縮
しているぞなんと
艶かしい光景だ

あ…ああ…っ!!
いいや…あ…
見な…いでエ…ッ

くう…あ…は…
恥ずかしい…よ才…

さあ、また腹の中に
蟲を詰め込んでやる、
貴様が糞ひり巫女
へと墮ちるまで何度でも
排泄させてやるぞ

了・女巫乃獄姦

後編へ続く

~ 姦獄乃巫女・エピローグ ~

「お願いっ！みんな…あぁっ！女…見ないで…アセイヤッ！」
カムイコタンに少女の悲鳴が響き渡る。
邪神アンブロジーアの子に落ちてから一月、繰り返される肛門調教によってアイヌの巫女は徹底的に排泄孔を開き続け、更には被害の喜びをもその穢れ蒸き身に刻み込まれようとしていた。

「くっ！うあっ！も、もうやめて…アセイヤッ！女、苦しい…は…あぁうっ！」

ぐぼっ！ぶっ！ぬちっ！ぶっ！ぬちっ！
羞恥の器官を蹂躪する魔手の動きに合わせて膨らんだ肛門が肉刺から漏れる。

何が詰まっているのだろうか、乙女の下腹部は無邪に膨張し、今にも張り裂けんばかりに張り詰めていた。

「オ、ナコルッ！」「巫女さっ！」

美と慈愛の象徴である大自然の巫女の変わり果てた姿に、村の広場へと集められた民の口からも悲鳴が漏れる。
自身が守るべき大切なカムイコタンのため、動き切らぬを知る家族同士の村人達の前でナコルは晒し者となっていた。

「くくく…いつもより腸の動きが活発になっているようだな、この様な衆人環視の中で尻穴を開かれて感じているのか？光の巫女よ」

腹裏に響く邪神の声に羞恥心を煽られ、聖なる少女は雪のように白くきめ細やかな肌を紅く染め上げて悶え泣いた。

妖鬼の拳は桜色の肛門に飲み込まれ、十三歳の直腸を荒々しい動きでかき回す。

限界を超えた便意と排泄感はいっしょに肉の喜びと化し、魔悦に届きまいと抵抗を続ける乙女の意識を灼いた。



「ぐっ！ぐっ！うあっ！こ…んがぁっ！あっ！いやっ！あぁっ！
…ふっ！あっ！ううっ！」

死にも勝る極限の中、ナコルの声に飽き混じり始めた。
黄門に突き込まれる腸の動きに合わせて陶磁器の様に美しい白桃が妖しくくねり、閉じ合わさった毎の内ビラが綻んでゆく。
「くくく…はしたない娘よ、晒し者にされ、このような場所で性器も肛門も剥き出しにされているというのに尻をくねらせるとはな」

邪神の嘲笑を受け、ナコルの中で目覚めた被害の炎が燃え盛り始めた。

真っ赤に紅染した幼顔を切なく握め、だらしなく開いた口からは透んだ唾液が糸を引いて垂れ落ちる。

「くっ！んっ！うあっ！は…あぁっ！だ…め…あうっ！」
甘美な肛門の肉悦はいつに聖なる巫女の純白の魂をも侵食し始めた。

可愛らしく小鼻を膨らませ、うっとり目を閉じてアナルフィストファックの快楽に陶酔するナコル。

ついに妖鬼の腕を肛門に咥え込んだまま尻尾をいやらしく円を描くようにうねらせ始めてしまう。

「くくく…心地良いか光の巫女よ、我の指先に貴様の温かな大便が溜み付いてきているぞ、このまま脱糞するまで黄門を見し抜いてやるとしよう。

「あうっ！いやっ！女、みんなの前でそれだけは…あぁっ！ぬ、許してやっ！あっ！あひイヤッ！」

繰り返る破滅の子に聖巫女は身を振って抗おうとするが、恥づかしい排泄器官から送り込まれる麻薬の様な快楽によって意識が霞がかかってゆく。

肉の愉悅と共に届る便意は遂に限界を迎えようとしていた。

「うっ！…くあっ！…あっ！…かほっ！…い、いや…あ…み、見ないでよ…う…うんっ！」
 ふうっ！ぶすうう…ぶりゅ…ぶりゅ…ぶりっ！ぶりぶりっ！
 けたたましい放屁音と共に聖女の肛門はぱくりと口をあげ、みっちりとした茶葉を捻り出していた。
 妖鬼の拳によって長時間の拡張を強いられていた括約筋はもはやナコルルの意思に従わず、鮮やかな紅色の腸壁をも外気に晒しながら完全に裏返っている。
 肉半の中で施された大便浣腸によりナコルルの腹部は強く膨れ上がり、腸内にはまだ大量の糞便が溜め込まれていた。
 「くくく…いいぞ光の巫女よ、お前の垂するカムイコタンの中の木々にたっぷり栄養を与えてやるがいい。村の者どももお前の脱糞姿を見て興奮しているぞ」
 「はあうっ！そんな…み、みんなお…うあっ！あっ！んんっ！…くふううっ！」
 大便は途切れることなく、褐色の蛇となって美少女の肛門から大地に向け伸びてゆく。
 辺りにはナコルル本来の花の蜜のような甘い香りに加えて大便特有の臭気たちが込み、巫女姫公開排便ショーのギャラリーとして集められた村人達の淫欲を煽らせていった。
 「巫女さま…すごく綺麗…」「あ…ナ、ナコルル…」
 いまだ排便を続ける肛門に熱い視線の束を感じ、生体被射のマジ感覚に目覚め始めていたナコルルは無意識に尻を突き出してしまった。
 「ふうっ！…んっ！…わ、私…どうして…うっ！あはっ！」
 気を失いそうなほどの恥辱の中、野太い大便に敏感な排便孔を内から延々と拡張され続け、魅惑の聖女は公開脱糞の背徳状態に身を置かせ続ける。
 陰惨な排便調教は純粋無垢な乙女の魂を確実に蝕んでいったのだ。
 「くくく…あと少しだ、間もなくお前は我の物となる。この邪神を現世に蘇らせる闇の巫女へと堕ちるのだ。ふははっ！」
 「い…やあ…そ、それだけ…はア…くっ！うあっ！アヒィッ！」
 一際大きな悲鳴と共に、気高き光の巫女の意識は悦業の深淵へと沈んでいった。

姦獄乃巫女・了



~ 奥付 ~

発行誌名：姦獄乃巫女
 発行：Chill-Out
 発行者：深水直行
 発行日：2006年8月13日

~ 後書き ~

この本を手に取り購読して下さいました皆様、どうもありがとうございました。深水直行です。またしてもやっしまいました、今回の本は予定では前回のDOA漫画の続編とナコルル漫画の二本立て、それぞれ16Pずつを描く予定だったんですけど、色々と厄介な事に見舞われてしまって結局この様なコピー誌っぽい内容のものになってしまいました。
 作業を開始したのは入稿予定日の三ヶ月も前からだったんですけどこのていたらく、何人いらっしゃるかは分かりませんが、楽しみに待っていて下さった方に対して申し訳ない事をしてしまった気持ちでいっぱいです。
 次の冬コミに向けてまた一念発起で頑張ろうと思いますので、どうぞよろしくお願ひします。最近格闘ゲームもすっかり廃れてしまって寂しい限りですけど、せめて同人の世界ではその灯を消さないように(?)頑張っていきたいものです。
 ゲーム業界は斜陽な感じですけど、逆に漫画でスカトロシーンを描かれる方が最近ちょっと増えてきたような気がします。こちらは個人的に大歓迎です、皆さんもっと描いて下さい(笑) それでは、次回は冬のイベントでお会いしましょう。
 P.S. 皆さん、地元での健康診断は必ず受けるようにした方がいいですよ。

2006年7月31日 深水直行

Chill-Out Presents for 2006 summer